

柏清風	11人
公明党	7人
政和会	5人
日本共産党	4人
護憲市民会議	2人
柏愛倶楽部	2人
市民サイド	2人
未来会議柏	2人
無所属	1人
定数36名 現員36名	
平成24年7月11日現在	

6月定例会

危機管理体制の強化を

断水時の対応と防災対策に議論が集中



篠籠田のしし舞 (西光院) ※注

撮影者：高村和恵さん
撮影時期：平成23年8月



携帯電話



スマートフォン

◆可決された主な議案の概要◆

- 柏市アミューゼ柏条例及び柏市近隣センター条例の一部を改正する条例の制定について
アミューゼ柏の指定管理者による管理に係る業務の範囲、管理の基準等を定めるもの
- 住民基本台帳法の一部を改正する法律の施行等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
住民基本台帳法の一部を改正する法律の施行等に伴い、関係条例の整備を行うもの
- 財産の取得について (柏市立藤心小学校給食用備品)
柏市立藤心小学校の給食用備品を2,100万円で取得するもの
- 財産の取得について (支援車)
消防車両の整備を図るため、支援車を5,229万円で取得するもの
- 平成24年度柏市一般会計補正予算について
平成24年度柏市一般会計予算の総額を約11億1,299万円増額し、約1,102億6,299万円に補正するもの

平成24年第2回定例会では、アミューゼ柏条例及び柏市近隣センター条例の一部改正、柏市消費生活センター条例の廃止、総額を約11億円増額する一般会計補正予算などについて、活発な議論が行われました。最終日には、議員提出議案2議案を含め15議案を可決・承認しました。また招集日散会后には、各委員会副委員長から行政視察について報告がありました。

◎定例会の流れ

※主な内容※

- 質疑並びに一般質問 … 2
- 委員会審査 …… 6
- 委員会視察報告 …… 7
- 議案・請願議決結果 … 8



◆招集日

(6月1日)

市長から市政報告の後、副市長から13議案について提案説明がありました。また、散会后には各委員会副委員長から行政視察の報告がありました(7面に行政視察報告内容を掲載)。

◆採決日

(6月21日)

各委員長・副委員長から審査の経過と結果の報告があった後、討論を経て、採決の結果、議案はすべて原案のとおり可決並びに承認しました。また、議員提出の意見書についての2議案が追加で上程され、それぞれ可決しました(8面に議案・請願の審議結果を掲載)。

◆質疑並びに一般質問

(6月7・8・11・14日)

18人が登壇し、市政各般及び議案に関する質疑並びに一般質問を行いました(2・3・5面に質問内容を掲載)。

◆委員会

(6月15・18・19日)

15日に総務委員会と市民環境委員会、18日に教育民生委

注 篠籠田のしし舞 毎年8月16日、西光院の施餓鬼の時に舞われる五穀豊穡、家内安全を祈願する祭り。篠籠田の獅子舞は、水に縁のある竜神をかたどる「竜頭の獅子」で古くは遠方からも依頼され「雨ごいの舞」を舞ったと言われる。県指定文化財。

質疑並びに一般質問

柏清風

円谷憲人

6日間にわたり、18人の議員が質問しました。
ここでは、その一部をお知らせします。
この記事は各質問者が作成しています。



給水所の開設には人員確保が課題

●5月19日の断水の教訓と今後の防災・安全対策
○断水当日、市民への情報提供がくれたように思える。

○午前10時10分にメールで「正午に断水」という趣旨のお知らせを行ったが、防災行政無線は影響の大きさを考え、断水が確実にいつからの放送となった。結果的には情報伝達ができてしまい反省している。今後は情報収集・分析を迅速かつ的確に行い、情報の早期提供に努めたい。

○災害時の地区災害対策本部や避難所等は、指定管理者制度導入後も市が責任を持って開設する。夜間や休日においても、同様に対応する。災害用備品等の管理は、指定管理者の業務として募集時の仕様書に明記する。



指定管理が導入されるアミュゼ柏

○ふるさと協議会の補助金減額の是非を問う
○ふるさと協議会は、地域活動を支える団体だ。補助金の減額はその地域活動を縮小させてしまふのではないか。

○民間とタッグを組んでスポーツ施設整備を
○スポーツ振興は大切なことだが、財政状況を考えると市が運動施設を独自に整備するのは難しいと思うがどうか。

○現在、全国で普及している防災ラジオが「アナログ方式」であるのに対して、本市の防災行政無線は「デジタル方式」となっている。また、デジタル対応型の防災ラジオが、現時点では量産されていない。このため、ラジオの生産には一台につき、数万円のコストがかかってしまいう現状にある。このような状況にあるため、現時点における防災ラジオの導入は困難であるが、今後もメーカーの動向や価格を注視しつつ、検討していきたい。

○南柏駅前交差点の歩行者の安全確保のために、早期に取り組むことのできる実現性の高い対策は、今谷上町の稲荷神社側に歩行空間を確保することであると考えている。関係する地権者等から協力を得て、対策を進めていきたい。

○近隣センターも兼ねるアミュゼ柏に指定管理者を導入する議案が提出されている。近隣センターは災害時に大きな役割を果たすが、休館日や夜間に災害が起きた場合の対応は、

○資産の有効活用のため、広告事業拡充を
○緊縮財政改善のためには、さまざまな形で財政改革に取り組まなくてはならない。その第一歩として公用車への広告掲載を提案する。

○防災・災害対策について
○昨年の東日本大震災の際の教訓を踏まえ、東京都では都内の企業等に、従業員のための3日分の水・食糧の備蓄を促す「東京都帰宅困難者対策条例」が制定された。本市の企業や学校に通う市外在住者は1日7万人を数えると思われる。本市に

○千葉市ではラジオ局のペイオフや千葉テレビ等と防災協定を結び、災害情報発信のための協力体制を築いていると伺っている。本市においても、災害情報の発信のため、メディア関連企業との連携強化により積極的に取り組むべきと考えるがどうか。

○現時点では、月額・日額の併用などが見直しを検討しているが、報酬額や支給方法を含め、市民の理解を得られるような支給となるべく、努めていきたい。

○交通安全対策について
○南柏駅東口の駅入り口交差点については、以前から地元の方等より、歩行者の安全確保に向けた取り組みを強化するよう、本市に対して要望が示されていると伺っている。今後、具体的にどのような安全対策を講じていくのか。

会議録

(http://www.city.kashiwa.lg.jp/)

本会議の内容を記録した会議録をホームページから閲覧できます。
キーワードや発言者での検索にも対応しています。
会議録は図書館本館や近隣センターの図書館分館にも配架しています。

公明党

塚本竜太郎

放射線対策（内部被曝）

問 市民の健康不安の軽減を図るため、ホールボディーカウンタによる内部被曝測定費用の助成制度を設けるべきでは。

答 現時点では実施は考えていないが、市民の不安が大きく軽減できるのであれば、検討を深めていかなければならない。

焼却灰の仮保管施設

問 市長の市政報告にある仮保管施設の「万全の放射線対策」の具体的内容とは何か。また、竜巻・台風等の自然災害に対する体制は十分か。

答 焼却灰の飛散防止対策として、薬剤固化・ビニール袋で封入、さび防止加工の鋼製のドラム缶で密閉し、鉄筋コンクリート製のボックスカルバート内に保管する。この厚さは30センチ以上あるため、ドラム缶からの放射線を99%カットでき、また万が一の自然災害にも対応できるように設置する。

人工内耳

問 人工内耳のスピーチプロセスの買いかえ助成や電池助成について、他市の事例を参考に調査研究すべきではないか。

答 現時点では、この機器を利用されている方の状況等不明な点が多いため、今後調査検討する。

防災行政無線

問 防災行政無線の難聴対策として、戸別受信機を導入してはどうか。

答 戸別受信機は、各家庭で防災行政無線の放送内容が流れるため、有効な情報伝達手段の一



防災行政無線と難聴対策としての戸別受信機

つではあるが、デジタル対応の受信機は、1台3万から5万円必要なため財源確保が課題である。

防災教育

問 防災教育の一環として、「こども救命士」養成講座を設け、小学生に対し救命講習を行うべきではないか。

答 従来、救命講習の対象は中学生以上とされていたが、昨年8月に国の実施要綱が改正された。小学生の早い段階で救命手法を身につけるのは、市民の救命率の向上につながるため、実施に向けて検討する。

小泉文子

地域防災計画

問 柏市の防災計画をつくる会の議論の結果をどのように防災計画に反映するのか。

答 災害時要援護者や女性の視点を取り入れた対策を報告や提言という形で防災会議に示す。

災害対策基本法の改正により今後の委員の構成は。

答 改正されれば自主防災組織の構成員、学識経験者を加える。

学校施設の防災機能強化

問 現在の小中学校の備蓄状態を踏まえた改善策は。

答 公立の小中高等学校に200人分の毛布と食料、飲料水、便袋、発電機1台と燃料ガソリンを配備し、体制強化を図った。

学校の地域コミュニティの拠点としての機能強化は。

答 避難所開設運営マニュアルを作成し、地域住民との関係強

読書活動

問 学校図書館整備5カ年計画において地方財政措置が講じられている。今後学校図書館指導員をふやすべきではないか。

答 今後も学校図書館指導員の計画的な配置を図っていく。

通学路の安全対策

問 通学路総点検がされているが、安全対策の取り組みは。

答 学校、道路管理者、警察と連携を図り、通学路の危険箇所を再点検し、改善策を検討する。

手賀の杜地域から手賀西小学校への通学路の安全対策は。

答 再度現地を確認したところであり、安全施設の再整備や追加設置を検討し、実施していく。

沼南公民館

問 今後利用団体の声をよく聞き、話し合うべきでは。

答 公民館の利用者、利用団体の皆さんの意見を伺い、誠意を持って対応していく。

護憲市民会議

末永康文

放射線対策

問 校庭等の除染工事時の粉じん飛散調査をすべきである。

答 放射性物質を含んだ土が風などの影響により大気中に再飛散していないか調査する。

放射線対策室に専門的な職員採用を。

答 専門性を持った方と綿密な連絡を行う体制にする。

防災・危機管理

問 断水時に対策本部長である市長は当日どこにいたのか。

答 個人的な事情で柏にいた。直接会議に出席せずとも逐次水道事業管理者や副市長との連絡を密にとりながら状況を把握するとともに指示していた。

近隣センターに行けばすべ

問 近隣センターに行けばすべ

介護予防

問 先進市では転倒予防、食生活改善などの取り組みが行われている。本市の介護予防は十分ではないか。

答 介護予防は単に運動機能や栄養状態など、個々の心身状況などの改善のみを目指すのではなく、一人一人の生きがいや自己表現のための取り組みを支援して生活の質の向上を目指す。

介護予防は食事が一番。塩

問 介護予防は食事が一番。塩分摂取抑制が大切。本市の介護予防は地域包括支援センターに投げかけている。介護予防参加者もわずかな者だけである。

答 高齢イコール老化を防ぐため、食生活や運動との因果関係を明らかにして介護予防を進め

放射能対策

問 内部被曝検査に対して費用の一部補助を行うべきと考える。内部被曝線量の半分以上が呼吸や食べ物から受けるとのこと。不安を抱えている妊婦や乳幼児がホールボディーカウンタで検査すれば6千円ほどかかるが、市長の考えは。

答 本市の状況は、ホールボディーカウンタで測定しなくても大丈夫と思うが、測定費用の助成については今後検討する。

危機管理体制の強化

問 断水時、市職員は各近隣センターに参集して情報収集等の活動をすべきでは。

答 今回の反省をもとに近隣センター活用の体制を強化する。

社会福祉法人の不適切な会計

問 処理の改善について

答 昨年8月4日の実施監査後、今年1月までに9回の指導を実施した。この時点でも改善が十分ではないので、社会福祉法第56条第2項による改善措置を命ずる前提として、行政手続法に基づき弁明書の提出を求めた。その結果、改善命令が必要と判断して3月23日に不適切な会計処理の改善措置命令を行い、4月23日までに報告書求めた。その間、さらに計4回継続的指導を行った。内容は、法人運営及び会計についての包括的な指導であり、法人役員や職員からの聴取と領収書や出勤簿、契約書などの証拠書類等も確認しており、改善すべき事項が多岐にわたり非常に多い。特に前理事長を中心に聴取を繰り返しながら改善に向け指導中である。

林 伸司

問 ICTコスト削減

答 パソコンやプリンターなどの周辺機器や事務機器について、周辺自治体や教育委員会と協議・連携し、広域で共同購入や共同でリース契約などを行うことで、事務経費の削減につながるのではないかと。

再生可能エネルギー

問 太陽光発電システムなどの自然エネルギーや再生可能エネルギーを市庁舎や近隣センター、保育園などの公共施設へ導入すべきではないか。

答 本市エネルギービジョンの中で、再生可能エネルギーの導入を進めており、現在では、新設小学校校舎やリサイクルプラザなどでも導入している。また、柏市公共施設省CO.指針において、施設の新設や改修時の積極採用に努めるとあるが、市単独予算では難しい状況である。今後は、補助金制度の要望など国県の支援を求め、民間の協力も得て積極導入を図りたい。

消防・救急バイク

問 災害発生時に、現場状況を把握し、救援活動につながるバイクは有用である。また、渋滞の多い都市部では、機動性が発揮され、消火活動等に活用できるとも。市としても消防バイクの導入を進めてはどうか。

答 高所カメラや小型消防ポンプ車での出動体制による対応を実施している。災害対応の場合、バイクに積載できる資機材不足から消火活動に制約がある。しかし、車両資機材開発や改良は行われており、消防バイクの導入については、国の財政支援措置等を見据えて、引き続き調査研究していく。



柏第三小学校の防災備蓄倉庫

問 待機児童解消

答 沼南地域にはこの数年保育施設整備がないが今後の計画は。

答 沼南地域での保育のニーズと供給部分のギャップは認識しているの何らかの形で満たす。

問 不妊症

答 正しく理解できるパンフレットの作成、検査治療の啓蒙、情報提供に努めていく。



日本共産党

日下みや子

●5月19日の「断水」問題
 防災無線は聞き取りにくい。昨年「広報車を出すべき」と要望してはいたではないか。
 ●今後、広報車による情報発信も備えていく。

●我孫子市は他市からの4台と合わせ計6台の給水車が動いた。同じようにできなかったか。
 ●県から給水車派遣の打診があったが体制がとれなかった。今後緊急給水体制を見直したい。

●非常用の水の確保として、URや民家などと地下水の協定を締結し対応すべきではないか。
 ●災害時の飲料水の供給に企業や私立の学校などの協定がある。今後、URや企業などとの協定を含め一層の確保に努める。

●消費税増税について
 ●消費税増税関連法案は、20兆円以上の国民負担の押しつけであり、消費税増税で13・5兆円の負担である。中小企業や自営業者の多くが身銭を切っている。10%になったら柏の地域経済は立ち上がれなくなる。税収も落ち込むのではないか。

●今回の社会保障・税一体改革は社会保障制度全体が持続可能なものにしていくとともに、国・地方を通じた社会保障の安定財源を確保するもの。国と地方が協力して推進すべき改革だ。
 ●生活保護の出産費用について
 ●事業仕分けの評価を受け、生活保護出産費用の自己負担が5・6万円発生した。負担なしで出産できるようにすべき。
 ●県の補助基準額に合わせた。

国民健康保険の出産育児一時金42万円は確保する。

武藤美津江

●市長の政治姿勢について
 ●野田首相が大飯原発について、日常生活や経済活動が混乱すると国民をおどし、国民生活を守るために再稼働すべきと明言した。これは、国民の命と安全を危険にさらす最悪な判断である。本気で国民生活を守るなら、原発ゼロを決定し、原発に頼らない再生可能エネルギーへ切りかえるべきである。市長の見解はどうか。

●国においては、原子力発電を含むエネルギー政策に関する議論が進んでいるので、経緯を注視していきたい。
 ●消費生活センターについて
 ●消費生活センターの移転により、消費者ルームが廃止になるが、消費者の保護並びに消費生活の安定及び向上を図るという目的を果たすため、相談業務は駅の近くで、消費者ルームは存続すべきである。

●駅に近いことで来所者がふえるものではない。消費者ルームがなくなることで市民生活団体の活動が滞るとは思わない。
 ●高柳駅利便性の向上について
 ●住民の願いに沿って橋上駅舎化を進めるべきである。

●エレベーター設置は、今年度工事着手が可能となった。現段階では橋上駅舎化実現の見込みは立っていない。引き続き東武鉄道と協議を重ねていく。
 ●県道白井・流山線安全対策
 ●県道白井・流山線、酒井根二丁目コンビニエンスストアとホームセンター周辺の信号機設置の進捗状況はどうか。
 ●千葉県警察で早ければ7月

ごろまでに信号機を設置する。

平野光一

●柏の過酷な滞納整理について
 ●松戸、流山、野田、我孫子で調べた。どこも滞納した税・保険料を分納するとき、延滞金は固定し、地方税法に基づき納付金も本税優先に充当される。本市では延滞金もふえ続け、例外的にしか本税優先を認めない。二重に市民を苦しめている。改めるべきだ。

●納税相談の中で個々の生活状況等に十分配慮し、本税優先を含め延滞金の減免、滞納処分執行停止も行ってほしい。きめ細やかな制度運用に努めたい。
 ●専用水道の有効利用について
 ●本市は市内14カ所の専用水道はすべて市水道へ編入するとして既に2カ所は廃止されたが、災害時の周辺住民への給水を条件に専用水道の維持管理に支援を行い、有効利用すべきではないか。

●市の水道に切りかえた際、市の水道事業としては引き受けできないので廃止している。災害時の応急給水用に残すことは検討に値するかもしれない。
 ●幼稚園の日照問題
 ●柏駅西口のマンション計画で5カ月間日が当たらなくなるとして、1万1523筆の署名が提出された。子どもの発達する権利にかかわる重大問題だ。

●関係法令に適合した計画であれば土地利用について、法の規定を超えた制限は難しい。
 ●仮に、このマンションが建ち、東側の駐車場にも同様の計画がされたらどうなるか。一年中、日が当たらなくなる。今守る必要がある。
 ●当然そういう計画は可能だ。

●水道事業の脆弱性
 ●北千葉広域水道企業団に過度に依存するよう政策的に進めてきたために、本市の水道事業の基盤が脆弱になってしまった。水道行政の失敗に対して、どのように認識しているのか。
 ●本市の井戸は老朽化した井戸も多く、揚水量も年々少なくなっている。地下水を活用するに当たっては、揚水量に規制があるなど北千葉広域水道企業団に依存をせざるを得ない状況となっている。
 ●一つの水源で問題が起きたときのために複数の水源を分散して確保することは水道事業の安定性の上で当然のことだ。や

市民サイド

松本寛道

●放射能対策について
 ●学校通学路の測定と除染、民有地、特に子どものいる家庭をどう支援していくのか。
 ●学校の半径200メートルの範囲で側溝や集水ますを優先して除染。効率的測定のため、GPSでの位置情報と放射線量を同時に記録できる測定器の準備を進めている。民有地を含めた地域の除染は町会等の協力をお願いしたい。

●我孫子市のように、ホールポディーカウンター検査への助成、総合的な健康管理、情報提供が必要ではないか。
 ●本市においては健康への影響は少ないと判断しているが、市民の健康不安を解消するのは重要なことと考えている。

渡部和子

●保育行政について
 ●待機児童は340人もいる。認可園の増設を進めるべきではないか。
 ●当分の間は、更なる施設整備で待機児童解消に努める。
 ●保育士の配置は3歳児で20人に1人、4歳児以上は30人に1人。これは子ども1人あたり比較しても保育士が少ないのは、40人まで3名。よって保育所の基準より厳しい内容である。

●正規保育士増、臨時保育士の待遇改善を求める。
 ●正規保育士と臨時保育士はバランスに配慮している。臨時保育士の待遇改善は重要な課題と認識している。平成20年と昨年度見直ししているが、今後とも関係部署と調整を図りながら適切に対応していく。

宮田清子

●財団法人のあり方
 ●本市が100%出資する財団法人「都市振興公社」(資産23億円)と「みどりの基金」(資産20億円)は公益事業を50%も行っていない。資産を本市に寄附して解散するべきでは。
 ●業務の内容を見た上で将来的には検討すべきと思っている。

●特別養護老人ホーム入居待ち
 ●現在入居待ちの人が1339人いるが、今後3年間の計画では200人分しかふえない。またすべて個室なので収入が基礎年金だけの人は入居が困難だ。「真に入所が必要なのは1割強」とも言われているが、本市の入居待ちの人はどれくらいか。
 ●正確な人数は把握していない

●市立柏病院のあり方
 ●本市は小児科、産科、産婦人科が少ないが、公立病院としてどう考えるか。
 ●産科は医師の確保が相当困難だ。

●公共施設の農業散布
 ●北柏ふるさと公園では樹木の剪定などで虫の発生をゼロにしているが、あけぼの山農業公園などでは神経に影響を及ぼす有機燐系農薬がまだ散布されている。農薬を使わない樹木管理を進めるべきではないか。
 ●化学物質過敏症の市民がふえているので、農薬を使わない事例の情報提供に努めていく。

●駐輪場の申し込み
 ●定員がオーバーする駐輪場の申し込みでは、3月初めに日の出前から多くの市民が並んでいる。来られない人もいるので不公平。抽せんにするべきでは。
 ●抽せん方法拡大に取り組む

無所属

内田博紀

●市長の政治姿勢について
 ●市が発行する印刷物にカラーユニバーサルデザインを採用すべきと考えるがどうか。
 ●色弱者がふえている現状から、今後は、カラーユニバーサルデザインを採用している先進事例を含め、市の情報がだれにでも的確に伝達できるように全庁的な取り組みとして研究していく。

●義務教育未就学者への学習権保障について
 ●学齢期に就学できなかった市民の学習権保障を担保する選

たが、国や東京電力からの財政支援がいまだに不透明な状況の中、今ある限られた財源の投入に優先順位をつけた。

●市立柏病院のあり方
 ●本市は小児科、産科、産婦人科が少ないが、公立病院としてどう考えるか。
 ●産科は医師の確保が相当困難だ。

●公共施設の農業散布
 ●北柏ふるさと公園では樹木の剪定などで虫の発生をゼロにしているが、あけぼの山農業公園などでは神経に影響を及ぼす有機燐系農薬がまだ散布されている。農薬を使わない樹木管理を進めるべきではないか。
 ●化学物質過敏症の市民がふえているので、農薬を使わない事例の情報提供に努めていく。

●駐輪場の申し込み
 ●定員がオーバーする駐輪場の申し込みでは、3月初めに日の出前から多くの市民が並んでいる。来られない人もいるので不公平。抽せんにするべきでは。
 ●抽せん方法拡大に取り組む

●折肢の提示を求める。
 ●中学校を卒業していない方が中学校の教育課程を修了し、卒業認定を希望する場合、公立中学校の夜間学級に入学して学ぶことができる。

●近隣センターにおいて芳香剤と殺虫剤、とりわけトイレポールの使用を控える意向はあるか。
 ●健康への影響の恐れのあるトイレポールについては、今後撤去する。トイレポール以外の製品についても悪影響のある製品もあるかと思われる。健康被害等の情報を積極的に入手し、市民の健康に配慮した施設運営に取り組んでいきたい。

政和会

上橋 泉

●柏の葉国際キャンパスタウン構想とクラスター開発

●前市長は柏の葉地区がシリコンバレーに匹敵する先端産業の集積地になるとの強い信念を持っていて本構想を策定されたが、同地区にビル・ゲイツのようなベンチャー起業家が出てきているか。EUは、研究者がベンチャー企業を渡り歩く米国型のクラスター開発は雇用形態の違いからEUでは実現不可能であることに気づき、大手研究所を多数集積させることにより研究者の雇用を確保する政策に変更した。EUはこのようにして先端産業の成否を決する人材クラスターの形成に成功した。日本の雇用形態もEUに近いところから、柏の葉国際キャンパスタウン構想も大手研究所の集積が成否を決する。こんぶくろ池公園予定地の無償貸与を条件に官民の大手研究所を誘致してはどうか。

●ビル・ゲイツのような起業家は残念ながら出てきていない。こんぶくろ池公園予定地の取得には国庫補助金なども活用して



公民学連携による国際学術研究都市づくり

おり、現時点でこの地域に研究所を誘致することは大変難しい。

●マニフェスト中間報告書

●達成済・一部達成・着手をめぐり進捗率82%としたのはおかしい。前市長時代から実施されている行政サービスについても市長のマニフェスト達成としているのはおかしい。

●最終的には達成済みとするため、何らかの形で着手している着手・一部達成を達成済と一緒にくくった。マニフェストとして掲げた施策は過去にとらわれることなく、将来の柏にとつてよいと思われる事業を掲載している。そのため就任前から実施している事業も入る。

●柏の葉小学校

●3月の定例会で教育長は、同校の外国語活動・国際理解教育・科学教育は同校の周辺地域の特性を生かした学校づくりだと答弁した。柏の特色は海外で暮らしたことがある方々が市内全域にわたって住んでいることである。同校の学区区以外の父兄が教育長の発言をどのように聞くとするか。同校と他の小学校とのソフト並びにハード面の格差を今後とも放置するのか。

●柏の葉小学校については、隣接している東大、千葉大との連携が図られやすいという立地条件を生かした教育活動を目指す。すべての学校がそれぞれの地域や児童生徒の実情を踏まえた教育を展開できるように教育環境の充実に努める。

中村昌治

●土木行政

●過去に新設及び改良した道路でも、時代の経過とともに交通量がふえたり、大型車両が進出し、舗装面のひび割れや段差

が生じている市道が多く見受けられる。深夜にその凹凸による振動で睡眠不足になるなど、日常生活に支障が生じていることから、今年度の市道の道路補修工事の事業計画について伺う。

●道路施設維持補修工事費として約2億円、舗装打ちかえ等の道路改良工事費として約9000万円を予算計上している。

●交通事故を未然に防ぐためにも、定期的に路肩や歩道の草刈をし、道路整備に努めるべきと考えるが、市の対応を伺う。

●クリーンセンターでは、草木、枝等の保管が困難な状況であり、道路交通上危険な箇所を除き除草作業を見合わせている。処分先が確保され次第、道路除草作業を順次進めていく。

●建築確認では、最低でも4メートル以上の道路幅員の確保が義務づけられているが、市街の住宅地では確保されていないのが現状。防災対策上からも4メートル以上の確保が必要であるが市の取り組みを伺う。

●防災上の観点や交通の円滑化を図るためにも、後退部分の寄附採納については、近隣市の取り組み状況を調査研究する。

●医療行政

●市民の健康を守るためにも、病気の早期発見、早期治療が有効な対策であることから、人間ドック、脳ドックの自己負担を軽減し、受診率の向上を図るべきと考えるが、市の考え方を伺う。

●昨年度の本市の特定健診受診率は約40%だが、受診率65%になった場合には、事業費は現在より60%ふえることになり、国保財政に非常に大きな影響が出る。しかし受診率を上げる必要もあり、人間ドックに対して

も補助し、結果として特定健診の受診率を上げていきたい。

●地域の諸問題

●東京ガスパイプラインについては、藤ヶ谷、高柳、光ヶ丘を經由し、三郷に至るルートで昭和45年に着工し、総延長約10キロメートルが埋設されている。既に40年が経過していることから、耐震性にすぐれたガス管に敷設かえすべきと考えるが。

●パイプラインは、耐久性と伸縮性にすぐれており、定期点検などでも異常は認められないことから、修繕計画は定められないとのことである。

長瀬 慈村

●市職員の雇用とやる気

●その現状と方針は。

●再任用は一定基準で選考、新規雇用への抑制はない。人事評価制度の定着と査定昇給制度の連動でモチベーション維持。

●医療・福祉などについて

●がん対策、在宅ケア、自殺対策、児童虐待対策、障害者支援、救急医療体制、市立病院、動物愛護の現状と課題は。

●がん対策見直しより患者を

柏市の作成しているハンドブック

柏愛倶楽部

山下 洋輔

●通学路の安全対策

●車から子どもを守り、子どもが豊かに育つ通学路を。

●警察、土地所有者と協議し、検討する。

●ダンス必修化

●ゴールデンホークスなど地域の資源をダンスの授業に



地域の資源をダンスの授業に

域資源を活用した授業づくりと教員研修制度の充実を。

●研修を充実させ、地域資源を活用した授業づくりを進める。

●食育の先進都市

●組織を横断し、地域を巻き込んだ連携が必要ではないか。

●連携体制を見直し、食を通じたまちづくりを進める。

●地域の歴史遺産の保存

●旧家の史料整理の状況は。

●約10万点の文書を保有。これらを整理、活用していきたい。

●文化会館の有効活用と改修

●イベント誘致を促進し、柏駅前の活性化を。

●興行者に働きかけていく。

●柏の葉国際キャンパス構想

●フューチャーセンターの取り組み状況は。

●UDCKを中心に、既存組織の連携や進捗管理を進めたい。

●市民大学

●市民大学での学びの成果を

市政に生かす道筋・計画は。

●市民大学では、市職員と議論し、施策に反映させる。修了後に市との協働も考えている。

●緊急時の情報伝達

●5月の断水における対応と今後の対策は。また、意思決定のプロセスは。

●意思決定に反省点。危機管理マニユアルを再度検証する。

●高齢者いきいきプラン

●介護保険施設を学校に例えるなど、イメージを一新しては。

●医療と介護が連携した有効な事例として、参考にしたい。

●世代間交流のコミュニティづくり

●高齢者の知恵・経験を次世代につなげ、高齢者の自己肯定感を高めながら、地域でのつながりを築いていく仕組みを。

●高齢者の増加が見込まれ、元氣な高齢者の活動の場づくりは優先施策である。

●民間委託の検討が必要。

●防災対策について

●女性職員の配置、個人情報保護制度の弊害への対応は。

●担当部署に女性職員2名配置、9名の女性委員が参加中。

●名簿作成の目的と保護を市民へ説明し地域防災活動を進める。

●手賀沼花火大会中止の経緯

●市民へのアンケートは。

●施行せず、委員会で決定。

議会を傍聴しませんか

柏市議会の本会議及び委員会は原則公開となっております。本会議の傍聴を希望される方は、本庁舎7階の傍聴席入り口にある受付票に、住所、氏名を記入するだけで傍聴できます。また、委員会の傍聴は、本庁舎6階の議会事務局でお申し込みください。

委員会審査

市長から提出された条例や補正予算などの議案について、各委員会での審査の内容の一部をお知らせします。

総務委員会

- ▼専決処分(市税条例及び都市計画税条例の一部改正)
 - 問 税制改正の対象は。
 - 答 住宅の敷地になつていて土地と市街化区域の農地である。
 - ▼火災予防条例の一部改正
 - 問 家庭でガソリンや灯油などを貯蔵している場合はどうなるのか。
 - 答 一般家庭でガソリンを貯蔵する場合は火災予防条例の規定により、消防法で定める指定数量200リットルの2分の1以上の貯蔵には届出が必要である。
 - ▼財産の取得※(支援車)
 - 問 現在保有している支援車はどうするのか。
 - 答 競売を考えている。
 - 問 車種を4トンから7トンに変更した理由は。
 - 答 船橋市を参考に使いやすさを重視した。
 - 問 車の特徴は。
 - 答 資機材の搬送を効率よくするためのパワーゲートを装着した。また、隊員の安全面から仮眠できるスペースを広げた。

市民環境委員会

- ▼24年度一般会計補正予算
 - 問 予備費を計上されると議会で審議する機会を失われる。
 - 答 放射能除染や焼却灰の仮保管施設費用などの緊急性を重視した。
 - 問 放射能除染などは今回の予備費ではなく、当初予算で計上すべきでは。
 - 答 きめ細かな除染、契約単価の上昇など、当初予算では時期的に間に合わなかったため今回の補正予算で計上した。
- ▼24年度一般会計補正予算
 - 問 南部クリーンセンター仮保管庫整備事業で、将来的に仮保管庫ボックスカルバートの撤去処分はどうするのか、安全性や費用はどう見込んでいるか。
 - 答 国は26年度末までに最終処分場をつくるということなので、その間の保管となるが、自身はそちらへ移し、ボックスカルバートの安全な撤去や費用については、現状ではまだそこまでの検討はしていない。

教育民生委員会

- ▼手数料条例の一部改正
 - 問 特定計量器とはどんなものがあるのか。また本市では何が該当するのか。
 - 答 いわゆるはかりと、皮革面積計の2種類が指定されている。本市ははかりのみである。スーパーマーケットなどで対面取引に使われるもの、病院で使用する体重計など多様なものが検査の対象となる。
 - ▼近隣センター条例の一部改正
 - 問 近隣センターで行ってきた生涯学習の事業をなくしてしまふのはいかがなものか。
 - 答 費用対効果のほか、生涯学習は教育委員会でも実施しており、部署が複数あるのはおかしいと事業仕分けで指摘を受け、近隣センターでの生涯学習事業は廃止することとなった。
 - ▼アミューゼ柏条例及び近隣センター条例の一部改正
 - 問 アミューゼ柏のピアノや芸術的なつくりの建物は市の財産である。管理はきちんとできるのか。
 - 答 ピアノの調律を含めた保守点検、施設全体の管理運営は、従来と同等以上の仕様で指定管理の候補を指定する予定である。
 - 問 南部クリーンセンター仮保管庫整備事業で、将来的に仮保管庫ボックスカルバートの撤去処分はどうするのか、安全性や費用はどう見込んでいるか。
 - 答 国は26年度末までに最終処分場をつくるということなので、その間の保管となるが、自身はそちらへ移し、ボックスカルバートの安全な撤去や費用については、現状ではまだそこまでの検討はしていない。
 - ▼財産の取得(柏市立藤心小学校給食用備品)
 - 問 落札業者は以前に風早南部小学校も扱っているが、何かつながりがあるのか。
 - 答 これは入札であり、そのようなことはない。
 - 問 災害時の対応として何か新しい視点で備品の整備を考えたところはあるか。
 - 答 新しいものはないが、以前からLPガスを使用しており、かまを使った炊き出しが可能。可能な期間は1週間程度だが、もう少し長い期間炊き出しができるように設備を併設すること、災害時の対応ができるのではないかと考えている。
 - 問 他の学校も同様に整備すべきと考えるが、スケジュールは決まっているか。
 - 答 実施計画の事務事業調書を出している。そのヒアリングが7月下旬で、おおよそのことは秋ごろになる。予算はその後年末から年始にかけてになる。
 - ▼24年度一般会計補正予算
 - 問 中間的就労支援とは、どのような事業か。
 - 答 生活保護を受ける手前の第2のセーフティーネットのような形で、例えば精神的に不安定で長時間勤務ができない方に、1日1、2時間程度の就労形態を提供するものである。
 - 問 除染を進める中で、芝生化を含めた復旧の考えはないか。
 - 答 学校及び保育園では汚染土の除去を最優先している。除染が終了した後の検討となる。

建設経済委員会

- ▼工事の委託契約の締結(柏北部中央地区一体型特定土地区画整理事業に係る公共下水道工事)
 - 問 雨水と汚水を同時に施行するのが効率的で経済的と思われるが、今回の工事で同時に施行しない部分があるのはなぜか。
 - 答 雨水の管は700ミリ以上の管が区画整理の中でいう下水道事業の対象となるため、街区道路の中には、雨水管の工事が入っていないこともある。
 - 問 北部東地区の見直しが進められている地域で工事が進められているようだが、どうなのか。
 - 答 都市計画道路の東側を見直すこととなり、6月申請にあわせて提出されていると聞いている。
- ▼24年度一般会計補正予算
 - 問 強い農業づくり交付金を受けるための条件は。
 - 答 受益農家及び事業参加が5戸以上であること。成果目標の基準を満たしていること。総事業費が5000万円以上であること。整備することにより費用対効果が一定以上上がることが見込まれることである。
 - 問 水田を埋め立ててライスセンターをつくるのであれば、農業委員会の許可も必要になるのではないか。
 - 答 当然農地転用が必要。この申請は、6月申請にあわせて提出されていると聞いている。
- ▼財産の取得(こんぶくる池公園用地)
 - 問 県公社からの買い戻しにおける事務費・管理費が高い。軽減する交渉はしていないのか。
 - 答 14年度に委託契約を締結する際に事務費・管理費等が土地価格の3%というのは高いとして事前に交渉した経緯はあるが、その状況のもと契約はなされたという。

請願・陳情の方法

行政などへの要望を「請願」「陳情」として文書で議会に提出することができます。

- 請願 内容に賛同する紹介議員(市議会議員)の署名か記名押印が必要。
- 陳情 全議員へ写しを配付し、審議はされません。紹介議員は不要。
- 提出方法 代表者の住所・氏名(フリガナ)・電話番号を記入し、押印の上、件名、具体的な趣旨、説明または理由などをわかりやすく記載してください。場所を示す場合は地番を明示し、「図面」を添えてください。
※署名簿は、各自が住所・氏名を記入の上、押印を。
随時受け付けておりますが、招集日午後5時を定例会ごとの締め切りとしています。

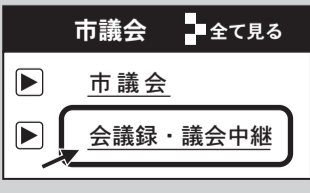
本会議インターネット中継のご案内

柏市議会では本会議の様子を動画配信しています。録画中継のほか、本会議開催中は、ライブ中継も視聴できます。

1 柏市ホームページにアクセス



2 『会議録・議会中継』をクリック



～録画中継を見るとき～

録画中継をクリック

「会議録・議会中継」の記事一覧	
▶ 本会議ライブ中継	
▶ 平成24年第2回定例会録画中継	
▶ 平成24年第1回定例会録画中継	

見たい部分の▶をクリック

6月7日(木曜日)	
質問者氏名	録画映像
柏 花子	▶
柏 太郎	▶

～ライブ中継を見るとき～

本会議ライブ中継をクリック

「会議録・議会中継」の記事一覧	
▶ 本会議ライブ中継	
▶ 平成24年第2回定例会録画中継	
▶ 平成24年第1回定例会録画中継	

『ライブ中継』をクリック

ライブ中継

※支援車=消防隊員の災害活動を支援する車両でキッチン、給湯設備、休憩室やトイレ等を完備している車。

◆熊本市は、市民の水道水源の100%を地下水で賅っている。

しかし、環境の変化とともに、年々地下水位は低下、水質も悪化し、既定の地下水保全条例を改正し、対策に取り組んでいる。

条例では、市・市民や事業者・地下水採取者それぞれの責務を定め、市民との協働のもと、水質保全、かん養、節水など地下水保全対策に取り組んでいる。

◆おおき循環センターは、町の「循環のまちづくり」の拠点として、平成18年に開設した。ごみとしていた有機物をメタン発酵処理し、発生ガスを燃料に電気



循環のまちづくりの拠点、
おおき循環センター

をつくり施設で利用、残った消化液を有機肥料として農地に還元する取り組みを行っている。

徹底した分別への住民の協力もあり、ごみ処理量は平成17年度に比べ、22年度は約5割の削減を達成した。

◆鹿児島市では、市民活動団体が自主的に行う公益的な事業に対し、助成するとともに、市が設定したテーマについて、市民活動団体から企画提案を募集し、市民活動団体と市が共同で取り組む企画提案型まちづくりモデル事業を実施している。

団体の意識が低いなど、課題もあるとのことであった。

【視察地・視察項目】

- ◎熊本市（熊本県）
「日本一の地下水都市くまもと」の推進
- ◎大木町（福岡県）
おおき循環センター「くるるん」
- ◎鹿児島市（鹿児島県）
市民とつくる協働のまち事業
企画提案型まちづくりモデル事業

市民環境委員会

● 4月17～19日 ●

● 4月25～27日 ●

総務委員会

委員会視察

建設経済委員会

● 5月8～10日 ●

教育民生委員会

【視察地・視察項目】

- ◎苫小牧市（北海道）
まちなか再生総合プロジェクト（CAP）事業
- ◎旭川市（北海道）
北彩都あさひかわ整備事業
- ◎富良野市（北海道）
中心市街地活性化基本計画



旭川駅周辺の開発整備事業

で終了見込みである。

また、新しい駅前広場も25年度には整備される予定であり、さらに忠別川周辺を魅力的に整備する北彩都ガーデンも進められている。

◆富良野市では、駅周辺の整備には、市の単独施工ではなく、民間・行政のコラボレーションが必要であると認識。商工会議所、まちづくり会社（第3セクター）が中心となりまちづくりを進める。地元物産販売施設であるフラノ・マルシェは観光客でにぎわっている。現在、高齢化社会を意識したネーブル・タウンの整備を検討している。

◆苫小牧市では、中心市街地の活性化に当たり、まちづくりの観点から総合的に考えるとともに、計画した事業は実施を前提にスピード感をもって柔軟に取り組むこととし、コンパクトなまちづくりを推進。地域ブランド戦略、まちなか交流館の建設、ご当地グルメの推進のほか、25年にはライブラリー・カフェの設置を予定している。

◆旭川市では、旭川駅周辺の開発整備事業を実施。鉄道の高架化、河川改修事業は23年度に終了。関連街路事業(橋の整備)は25年度、土地区画整理事業は26年度

◆高松市立図書館は全部で5館。市民1人当たりの年間貸し出し冊数は7.2冊、登録率は57.8%である。コンビニでの貸し出し業務を24年2月から市内の中心街、主要駅に近い1店舗に限定してスタートした。事前にパソコンや携帯電話で予約をし、翌日の午後5時以降は24時間いつでもコンビニで受け取ることができる。1日当たりの予約は平均75件で図書館全体の1日予約件数790件の9.5%と高い利用率を占めている。

◆四国中央市の校庭・園庭芝生化事業は「子育て環境、四国一」への取り組みの一環として21年



四国中央市立三島東幼稚園の
園庭の芝生

【視察地・視察項目】

- ◎高松市（香川県）
高松市立中央図書館
- ◎四国中央市（愛媛県）
校庭・園庭芝生化事業
- ◎松山市（愛媛県）
松山市総合福祉センター

度から開始。走るのが速くなった、風邪をひかなくなった等の効果が認められている。協働事業の一環として位置づけられ、芝生の管理経費は市からの補助金、労力はサポーターにより賅っている。

◆松山市総合福祉センターは市制施行100周年事業の一環として平成3年4月に開設。高齢社会の到来と福祉ニーズの複雑化・多様化・増大化に対応でき、高齢者・障害者・ボランティア活動など各種福祉活動の拠点となる総合的機能を有する施設。総事業費は33億8,320万円。



被災した小学校（仙台市）

復興支援「E.G.A.O.せんだい」の運用を開始している。

今回の避難所運営の経験から防災マニュアルは市職員用ではなく、職員と市民との共通の避難所運営マニュアルが必要と考え現在作成中である。

【視察地・視察項目】

- ◎函館市（北海道）
公契約の取り組み
- ◎盛岡市（岩手県）
市業務の民間委託
※交通機関事故不通に伴い中止
- ◎仙台市（宮城県）
自主防災と避難所運営

■ 議案の審議結果

Table with columns: 番号, 件名, 結果, 柏清風10人, 公明党6人(次1), 政和会5人, 日本共産党4人, 護憲市民会議2人, 柏愛倶楽部2人, 市民サイド2人, 未来会議柏2人, 無所属1人. Includes sections for 市長提出議案 and 議員提出議案.

■ 請願の審議結果

Table with columns: 番号, 件名, 主旨, 結果, 柏清風10人, 公明党6人(次1), 政和会5人, 日本共産党4人, 護憲市民会議2人, 柏愛倶楽部2人, 市民サイド2人, 未来会議柏2人, 無所属1人.

○：賛成、×：反対
反対には、態度保留、継続等を主張し賛成でない立場を含みます。
議長は表決に加わっていません。

9月定例会の日程(予定)
9月7日(金) 招集日
13日(木)
14日(金)
18日(火) 質疑並びに
19日(水) 一般質問
20日(木)
21日(金)
24日(月) 常任委員会(教育民生・建設経済)
25日(火) 常任委員会(総務・市民環境)
26日(水) 特別委員会
28日(金) 議案等採決

インターネットで委員会記録公開!!
平成24年6月定例会の委員会から委員会記録をインターネットで公開します。
6月定例会の委員会記録は9月7日までに公開する予定です。
各委員会に付託された議案や請願の審査の詳細についてごらんいただくことができます。

表彰
6月定例会の初日、山中一男、上橋泉、末永康文、山田一一の各議員に対し、表彰状の伝達が行われました。
これは、市政の向上・振興に貢献した功績により、全国市議会議長会から、山中一男氏は在職25年以上の特別表彰を、上橋泉氏、末永康文氏、山田一一氏は在職20年以上の特別表彰を受けたものです。



山中一男



上橋 泉



末永康文



山田一一